

子育て支援に関する現状・課題の整理

ニーズ調査結果・第2期計画からみえる課題

- ◆「子どもをみてもらえる親族や知人がいない」「子育てを相談できる人や場がない」という人が一定割合いる。
- ◆就学前児童の保護者は子育てに不安や負担を感じている傾向にある。
- ◆出産後も就業を継続する女性が増えていることから、ワーク・ライフ・バランスを推進し、両親が仕事も育児も両立できる環境整備が必要。
- ◆女性の就業率の増加、共働き家庭の増加や核家族化の進展による保育ニーズの高まりにより、保育所や学童保育所、その他多様な保育ニーズへの対応が必要。
- ◆児童虐待件数の増加、相談件数の増加により、社会的な支援の必要性が高い子どもや家族に対する支援体制が必要。

保護者が栗東市に対して望む子育て支援策

- ①「学校教育・保育環境の充実」
- ②「教育・子育てにかかる経済的負担の軽減」
- ③「虐待やいじめ、不登校などへの対策や支援の充実」
- ④「子どもを対象とした犯罪事故の防止対策」
- ⑤「公園整備、歩道の整備などまちの環境整備」

4 施策体系 第3期栗東市子ども・子育て支援事業計画体系図（素案）

基本理念

～子ども・家庭・地域 ともに育つまち りっとう～

計画の視点1
「子どもの成長を支える」

基本目標1：子どもの健やかな育ちを支える環境づくり

基本施策

- 1 妊娠から子育てまで切れ目ない支援の充実
- 2 就学前の教育・保育の充実
- 3 子どもの居場所づくりの充実
- 4 子どもの意見表明と参加の促進

計画の視点2
「家庭での子育てを支える」

基本目標2：安心して子育てができるまちづくり

基本施策

- 1 家庭の子育て力・教育力の向上
- 2 子どもにかかわる相談体制と情報提供の充実
- 3 保育サービスの充実
- 4 子育て家庭への経済的負担の軽減
- 5 支援を必要とする子どもと家庭を支える取り組みの推進

計画の視点3
「地域社会で子育てを支える」

基本目標3：社会全体で子どもの育ちを見守り支える環境づくり

基本施策

- 1 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
- 2 地域における多様な子育て支援の充実
- 3 子どもが安心・安全に過ごせる環境の整備